TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵-愛　その２
コリントの信徒への手紙一 13:8-13

2025 年 7 月 19 日 & 20 日
余沢　武 牧師

I.　はじめに

こんにちは。「インパクト・ビルディング・プロジェクト（IBP）」をサポートしていただきありがとうございます。画像はこちらです。IBP に献金していただく際には、IBP の封筒をお使いいただくか、オンラインで献金していただく際に IBP をご指定ください。

コリント人への手紙第一で、「愛は忍耐強い。愛は情け深い。」と学びました。
「愛」は「霊的賜物」より重要です。私たちは皆、教会で人を愛するために使うように霊的な賜物を受け取っています。しかし、私たちの霊的賜物、ミニストリー、能力、知識がどれほど素晴らしいものであっても、愛がなければ、忍耐と情け深さがなければ、私たちは無に等しく、何も得られません。今日もこの「愛」について学んでいきましょう。 お祈りしましょう。

II.　愛 その2

（1）　愛は決して滅びません。

コリントの信徒への手紙一 13:8 を開きましょう。そこにはこうあります。「愛は決して滅びません。しかし、預言は廃れ、異言はやみ、知識も廃れます。」

パウロはこう言います。私達が天国に行ったら、「預言」は全て「廃れます。」「異言」は「やみます。」「知識」も「廃れます。」しかし「愛」は「決して滅びません。」そして「決して失敗しないのです。」

愛には 2 種類あります。

1 「この世的な愛」は、この世の中に属する愛です。この「愛」は簡単に失敗します。
2 「聖書的または真の愛」は、「神の愛」または「イエスの愛」です。そしてその「愛」は:

- 忍耐強い:不当な扱いを何度も受けても怒らない力があります。
- 親切:自分を傷つける人を含め、他の人に積極的に良い行いをすることを選びます。この愛は決して失敗しないのです。

さて、私達が愛する人がいます。その人が公然と私達のことを批判し、その結果私達がその人を恨むようになったとします。これは私達の「愛」が失敗したことを表すのでしょうか。いいえ。「愛」は決して失敗しないのです。それは私達が本当は「愛」を持っていなかったことを表します。私達は「この世に属する愛」しか持っていなかったのです。そしてそれは、全く愛ではないのです。

問題は、たとえ相手に憤慨していても、通常、自分に罪があるとは考えないことです。その代わり私達は相手が罪深く、問題があると考えます。残念ですが、だから多くのクリスチャンが、全く忍耐がなく、親切ではなく、「愛がない」ままなのです。

しかし、私達が自分達の罪を認め、十字架を受け入れ、イエスに助けを求めるなら、聖霊が私達の内で働き始めます。そして、私達の内に変化が現れ始めるのです。誰かに批判された時、恨むのではなく、「どうすれば愛をもって優しく対応出来るか」を神に祈り求める自分に気付くでしょう。
私達は忍耐を持って、親切になり、愛ある人になっていっているのに気付くでしょう。この愛は、聖霊の働きによってもたらされるため、私たちの中に根付き、成長し続けるのです。これこそが、決して失敗することのない「愛」なのです。

（2）　私たちの知識は一部分です。

9 節-10 節「[9] 私たちの知識は一部分であり、預言も一部分だからです。[10] 完全なものが来たときには、部分的なものは廃れます。」

今の時点で、私達の知識と預言の理解はまだ部分的です。

私達は、インドの寓話「盲人と象」の盲人のようです。この寓話で盲人達は、象がどのようなものかを知ろうとします。

1人目は鼻に触れ、「蛇のようだ」と言いました。
2 人目は耳に触れ、「うちわのようだ」と言いました。
3人目は脚に触れ、「木のようだ」と言いました。
4人目は胴体に触れ、「壁のようだ」と言いました。
5人目はしっぽに触れ、「縄のようだ」と言いました。
6人目は牙に触れ、「やりのようだ」と言いました。

盲人達は真実の一部分を知っていましたが、全体像を知るものはいませんでした。私達もそうです。私達は皆、神の真理の一部分だけを知っていますが、誰も真理を完全に知っている人はいません。

私達は聖書が 100%真実であると信じていますし、信じるべきです。しかし次のような点では意見が一致していません。
世界はどのように終わるのか。教会をどのように行うべきなのか。
終焉か継続か。奇跡の賜物は使徒の時代だけでなく、今もあるのか
選びか自由意志か。神が信じる者を選ばれるのか。人がイエスを信じることを選択できるのか。

ある牧師から聞いたことがあります。「私は午前中の礼拝では『予定説』、つまり神が救われる者を選ぶと説教し、夜の礼拝では『自由意志』、つまり誰でもイエスを信じれば救われると説教します。」
「どちらも聖書に書いてあるからです」とのことでした。

パウロは、現在私達は「一部分しか知らない」と言います。天国に行ったら私達は完全な知識を得ます。だから今はたとえ私達が全ての事で意見が一致しなくても、次のことを理解する必要があります。

#1. もし私達の意見の相違が救いに影響しないのであれば、神の目から見て、私たちは皆「一つの教会」です。神の目には教会は一つだけで、私達は皆ひとつの「聖霊」の働きなのです。

#2. 天国では、私達には違いが全くなくなります。天国に入る時、私たちは皆「真理の全体像」を知るでしょう。その時、私達は皆驚き、そして謙遜にさせられるでしょう。

(3) 幼子のように

11 節「幼子だったとき、私は幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていました。大人になったとき、幼子のような在り方はやめました。」

これは謙遜な気持ちにさせられますが、大切なことなので理解する必要があります。私達はこの地上にいる限り、皆が霊的に未熟な子供なのです。

昔「スタンド・バイ・ミー」という映画を観ました。その中で 2 人の少年が、スーパーマンとマイティマウスのどちらが強いかを巡って口論していました。その際、少年の一人が自信満々に言いました。「スーパーマンの方が強いに決まってる。だってスーパーマンは実在するけど、マイティマウスはただの漫画のキャラクターだから」。それが子供の論理です。

パウロはこう言います。この地上にいる私たち全員が「幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えるのです。」だからある意味「成熟したクリスチャン」という存在はないとも言えます。もしくは「成熟したクリスチャン」というのはまだ自分が「成熟していない」と知っている人とも言えます。

このため、教会、交わり、弟子訓練、奉仕、宣教、礼拝といったことをどう行うべきかを決める私達の信念は全て「真理の一部分」と「子供の論理」に基づいているのです。私達はこのことを理解し、違いによって私達を分断させないようにする必要があります。互いに愛し、忍耐強く、親切にしてください。

12 節-13 章「12:私たちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ていますが、その時には、顔と顔とを合わせて見ることになります。私は、今は一部分しか知りませんが、その時には、私が神にはっきり知られているように、はっきり知ることになります。13:それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。」

私達の理解は「鏡におぼろに映ったもの」で、私達は「一部分しか知らないのです。」

コリントは青銅製の鏡で知られていました。そこでパウロは例としました。その鏡がどれだけ鮮明な姿を映

し出せたとしても、絵のように依然としてその人の一部分しか表していないのです。

若い時、自分の部屋の壁に好きな歌手、俳優、アスリートのポスターを貼った方もおられるかもしれません。それらは有名人を見事に表現していますが、あくまでも部分的な表現です。

でももし彼らの家に一週間滞在し、毎日顔を合わせたら、その人達をどういう風に知っているかという内容は完全に変わるでしょう。

私達は聖書を通して、神と神に関する真理を素晴らしく知ることが出来ます。でもそれは鏡のようなものなのだとパウロは言います。真理に関してかなり知ることが出来ます。しかし天国で神の御前に行き、顔と顔を合わせて神を見る時には全く違うように知るでしょう。

パウロは「私が神にはっきり知られているようにはっきり知ることになります。」と言います。私達が「真理を完全に知る」のは、私が神にはっきり知られているようにだと言います。神様は私達のことをどのように知っているでしょうか。全てです。そのように私達も神と神に関する真理を知るようになるのです。その時私達は次のことを知るようになります。

13節「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。」

その日が来ると、全ての「霊的な賜物」はなくなります。私達が全てを完全に知る時に残るのは、3つのことだけです。信仰、希望、愛です。

「信仰」はその時見えるものに同化されます。私達はその時、全てを見るからです。

「希望」は完全なものの中に吸収されます。私達が望んでいたものはすべて私達の中に完成されるからです。

「愛」が「私達が誰であるかということ」の「現実」に永遠になるのです。

私達は童話の「みにくいアヒルの子」に出てくる、みにくいアヒルの子のような存在なのです。他のアヒルの子達に似ていなかったけれど、最終的に美しい白鳥になったみにくいアヒルの子です。

クリスチャンの皆さん、私達は今、アヒルの子達の中にいますが、周りの人達が持っていない独特の性質を持っています。この独特の性質がいつかは私達の内で最も大きく、私達を表すアイデンティティになるのです。その特質が「愛」です。私達が周りの人達と異なるのは、私達の内にいつも次の性質が形作られているからです。

「忍耐」嫌なことをされても怒らない力
「親切」私達を傷つける人にも親切にする力

私達はこの全く新しい性質、「神の愛」「神の御性質」を育んでいます。なぜならそれは永遠に私達のアイデンティティだからです。

これが私達のことなのでしょうか。これが私達が育むために教会に来るものです。私達はこれを育むために互いに奉仕し合います。違いがあっても、私達は成長し、これを育みます。

私達の究極の目標は、「互いに愛し合う」ことだからです。

「もしあなたがクリスチャンでないなら、イエスを信じてください。あなたもイエスに「神の愛の民」に変えてもらいましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg3025jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月7日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的に成長するために
9月21日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方

★クラス 210
スモールグループトレーニング
10月4日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷

（女性 3 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org